

精神医学概論 (Introduction to Psychiatry)					担当教員	
					非常勤講師	挟間 雅章
					非常勤講師	川勝 一雄
					非常勤講師	義村 さや香
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等		
薬学専門教育（講義）	6年次 前期	講義	1単位	選択		

【概要】

本講義は計8回（精神科医より6回、薬剤師より2回）行う予定である。初回の講義で精神科の症候学、診断学、治療学などを概説し、精神医学の全体像を示す。その後の4回の講義では、薬学部生に対する講義であることを考慮して、主要な精神疾患について薬物療法に重点を置いて解説する。後半3回の講義では、精神科における薬物療法の実践について解説する。

【授業の一般目標】

精神医学の概略を理解する。精神科治療における薬物治療の位置づけを把握する。向精神薬に関する知識とその使い方を習得する。

【準備学習(予習・復習)】

講義の前後に、下記の参考書の該当箇所を、講義1回あたり2時間程度読むこと。また、精神疾患に対する理解を深めるため、精神科に関連した映画を観賞することも推奨する。

例：「ビューティフル・マインド」、「シャイン」（統合失調症）、「ツレがうつになりまして」（うつ病）、「レインマン」（自閉症）、「明日の記憶」（認知症）、「酔いがさめたら、うちに帰ろう」（アルコール依存症）など。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	精神医学総論	挟間	精神医学の全体像をつかみ、社会的意義を理解する。	
2	精神疾患（１）	挟間	抗うつ薬や抗不安薬・睡眠薬が適応となるうつ病、不安障害、不眠症について説明できる。	
3	精神疾患（２）	挟間	抗精神病薬が適応となる統合失調症やせん妄について説明できる。	
4	精神疾患（３）	義村	気分安定薬が適応となる双極性感情障害や、抗認知症薬が適応となる認知症について説明できる。	
5	精神疾患（４）	義村	発達障害について説明できる。	
6	薬物療法の実践（１）	川勝	統合失調症を例に、薬物療法の適正化について説明できる。	
7	薬物療法の実践（２）	川勝	精神科の入院患者における内服管理の方法・工夫について説明できる。	
8	薬物療法の実践（３）	挟間	精神科の外来患者における内服管理の方法・工夫について説明できる。	

	(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書	なし		
参考書	標準精神医学 こころの治療薬ハンドブック	野村総一郎・樋口輝彦・尾崎紀夫 青葉安里・諸川由実代	医学書院 星和書店

【成績評価方法・基準】

定期試験100％で評価する。

【評価のフィードバック】

講評は、合格発表日に掲示にて公開する。